

ツヤハダゴマダラカミキリの リンゴ樹への寄生リスクは低い

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

1 部門名

果樹－その他－病害虫防除

2 担当者名

高橋佳大、阿部初紀、中村傑、中村淳

3 要旨

2021年に本県で初確認された外来種のツヤハダゴマダラカミキリ(図1)は、トチノキやカツラ等を主な寄主としているが、海外ではリンゴ樹も寄主として報告されている(Baker, R.ら)ため、リンゴへの寄生リスクについて調査した。供試した個体群(福島市又は伊達市トチノキ由来)は、リンゴ樹への産卵は確認されたものの、樹内で幼虫は生育できず、成虫はリンゴ樹に比べてトチノキへの選好性が高いことからリンゴ樹への寄生リスクは低いと考えられる。

- (1) 網室内のリンゴ樹への放虫試験で、樹体への産卵及びフラス(木くずと糞の混合物)の排出を確認したが、途中から排出は見られなくなった。樹体の解体調査でも幼虫、蛹は確認されなかった。
- (2) 網かけしたトチノキとリンゴ樹に成虫を放虫した選好性調査では、放虫直後からトチノキに定位し、リンゴ樹ではほとんど確認されなかった(図2)。



図1 ツヤハダゴマダラカミキリ雄成虫

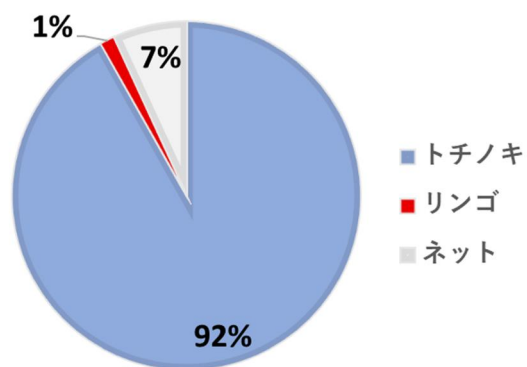


図2 網かけしたトチノキとリンゴ樹に放虫した成虫の定位場所

※放虫1~7日後にツヤハダゴマダラカミキリ成虫(雌雄各3頭)の
定位場所を調査(3回実施)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和4~7年度
- (2) 研究課題名 相次いで侵入した外来カミキリムシから日本の果樹と樹木を守る総合対策手法の確立〔イノベーション創出強化研究推進事業〕

5 主な参考文献・資料

- (1) Baker, R.ら (2019) *Anoplophora glabripennis* Pest Report to support ranking of EU candidate priority pests. EFSA, 33 pp,